

会議顛末報告書

							記録者	主幹 飯田 元之			
供覧	部長		課長		補佐		主査	係長		課員	
			政策監								
件名	第2回 龍ヶ崎市道の駅整備基本計画策定検討会議										
年月日	平成28年8月17日(水)										
時間	午後1時30分から午後2時30分										
場所	市役所附属棟 2階会議室										
出席者	【参加団体】 出席団体名簿のとおり 【事務局】 松尾総合政策部長 道の駅プロジェクト課 中嶋課長、由利課長補佐、記録者 【道の駅整備基本計画策定支援業務委託受託者】 セントラルコンサルタント(株) 3名										
欠席者	3名										
傍聴	0人										
議題	1 開会 2 協議内容 (1) 導入施設の整備方針 (2) 施設の規模と配置 3 閉会										
情報公開	公開 部分公開 非公開	非公開(一部非公開を含む)とする理由					(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)				
		公開が可能となる時期 (可能な範囲で記入)					年 月 日				

龍ヶ崎市総合政策部道の駅プロジェクト課

事務局	【開会】
座長	(1) 導入施設の整備方針 と (2) 施設の規模と配置について、事務局から説明願います。
事務局	【協議内容】 (1) 導入施設の整備方針 (2) 施設の規模と配置 《資料に基づき、一括して事務局より説明》
座長	ご意見、ご質問等をいただきたいと思います。
観光物産協会	施設の大きさによって予算が違ってくると思うが、この辺は如何か。
事務局	基本計画の中で施設の規模や配置について整理して概算事業費を算出した上で予算について調整していきたいと考えています。
観光物産協会	民間では、概算事業費を設定して予算規模を定めてから事業を進めていくと思う。理想を追求すれば経費は増えるし、意見としては色々あるが、この会議ではその辺のことも発言してもよろしいか。
事務局	はい。
流通経済大学	バスの駐車スペースはもっと多くても良いと思うトイレの設置数は女性に配慮し、女性が気に入るトイレを整備すべき。物販施設は、地元の人たちが日常的に利用できるものを設定してはどうか。目的地型とか滞在時間を増やすということで、橋を架けるとか、船を出すという意見があったが、やはり予算の問題。維持費も市の負担になるので難しいと感じている。車で30分から1時間、柏、松戸くらいまでが誘致圏ではないか。水辺で雰囲気がいいとか、子どもが遊べるとか、ゆっくりできるとかいう日常利用の延長ぐらいの規模が良い。また、市民の意見で、文化活動作品の展示ホールをという意見があったが、そういう場所は好みが限定されて多目的利用には難しい。オープンスペースでイベントや展示等、多目的に利用できる空間があればいいと思う。
住民自治組織連絡協議会	子育て中の母親や高校生、大学生等の若い人たちの意見が無いように感じた。まちを維持していくには、若い人たちの活力が必要。政策情報誌に流通経済大学との「りゅうRYU散策記」の記事が載っていたが、大学生等が中心となってどのような道の駅にしたらいいのか意見を聞いてもいいと思う。 それと日常的に365日どう運営していくのかということ。市民はもちろんのこと近隣や東京方面から牛久沼を見に行こうとなるようなイベントができるといい。地元の農産物販売は当然のことだが、それだけではないと思う。
女性会	【流通経済大学】の女性からの目線の意見に同感する。赤ちゃん室とかの授乳施設があるといい。そこにオムツの自販機があれば安心して行けると思う。トイレには生理用品の自販機も必要かと思う。シャワー室等も必要性が高ければ検討すべき。平日だと観光バス等も少ないので、まずは地域に愛してもらえるということが一番大事だと思う。
国土交通省	国道6号の下り線側に整備が予定されているが、6号は交通量が多いので、上り車線からも利用者が入れるような構造で考えていただきたい。普通車だけでなく、大型車も入れるような形で出入口等を検討していただきたい。トイレは、障がい者も安心して使えるように整備していく方向で検討を進めてもらいたい。障がい者用駐車場からトイレが近いというのはかなり大切なことになろうかと思う。 情報発信での最近のニーズとして、道の駅SPOT等の無料Wi-Fiの設置導入等も検討いただきたい。出入口や駐車場のますの数については、今後、事務レベルで少し整理をさせていただければと考えている。

地域計画課	<p>情報発信拠点として市のPRだけでなく、周辺の地域との連携を含めて、牛久大仏であるとか周辺とのルートを考えていけばいいと思う。地域連携施設は商業的要素が高くなると思うが、周辺の農産物を置く場合でも周辺の類似施設と競合してしまっは魅力が無くなるので、共存も考えたほうがいい。牛久沼の利活用をぜひ考えていただきたいと思うが、牛久沼の経緯や所有権の問題も含めて検討を進めていただきたい。</p>
座長	<p>この件について事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>牛久沼の利活用については県議会等でも何度も取り上げられたと記憶しています。その際も、所有権の問題や、あるいは水際線計画研究会の方での各市町村との調整の中で、なかなか前に進まないということで今日に至ってきていると思います。所有権の問題については、龍ヶ崎市と河内町の共有地ということは従来から本市の主張なのですが、現在関係者と将来に向けて禍根を残さないような形で合意ができるように調整しています。調整が進んだ後には、龍ヶ崎市から周辺各市に牛久沼の活用策についてお話しかけをしたいと思っています。活用には比較的前向きな自治体と、慎重な自治体があり、周辺自治体が一致して何かをやるとうするのは現実的には難しいと思っています。できれば、本市としてできることや、前向きな自治体と連携してできることを先行して進めながら、その他の自治体にも働きかけていきたいと考えています。併せて、道の駅については立地特性からして本市だけでなく、茨城県のゲートウェイ的な性格を持たせていけたらいいと思っています。地域の産品や情報発信についても本市のものに限るということではなく、より回遊性を考慮して、ここを基点に牛久大仏や阿見等の周辺地域に行っていただけるような情報も出していけたらいいなと考えています。</p>
観光物産課	<p>ゲートウェイ機能を考えた場合、インバウンド対応というのが出てくると思う。多言語表記やクレジットカードの利用、無線LAN等が当然出てくると思う。ターゲットとしては茨城空港や成田空港。茨城空港には中国・台湾との定期便がありますし、チャーター便の可能性もある東南アジア諸国というのもターゲットとなるかと思う。成田空港のトランジット客も視野に入ってくると思う。アジア圏をターゲットにした場合、果物や花がうけるという情報があるので、そういったところに着目していくというのもいいと思う。また、牛久大仏や阿見という話があったが、圏央道が今年度には開通することを睨んで、龍ヶ崎エリアと牛久大仏等の回遊を意識しながら、受入れ体制というのも整備していくといいと思った。</p>
道路維持課	<p>施設の規模は、どんなものを入れるかで大きさは変わってくる。並行して考えなくてはならないのが出入口。資料だと2箇所となっているが、東京方面からも水戸方面からでも出入は可能と思うが、地元利用を考えた場合、県道八代庄兵衛新田線から来たときの出入口をどうするのかということも考えて施設規模を考えなくてはならない。道の駅としての利用が想定される敷地長は約500mあり、この距離を歩くのは大変だと思う。トイレの位置を北側にするのか南側にするのか、両側とするのか、東北道的那須高原サービスエリアのような事例もあるので真ん中ではダメということもない。また、サービスエリアでは、繁忙期のトイレ利用者のために駐車場の一角にトイレを設けているところもある。</p> <p>長い敷地は、そういった形でカバーすることもできるし、規模と出入口の配置等を全体的な視野の中で上手くバランスをとってもらいたいと思う。</p> <p>防災機能を道の駅に設けなくてはならないということではないし、市の地域防災計画で他に拠点が整備されていれば道の駅を防災拠点にする必要性はない。ただ、自分が住む地域の防災拠点を把握している方ばかりではないし、道の駅に行けば何とかかなるという考えが1点と、国道6号は36,000台くらいの交通量があり、通過者が一旦そこに逃げ込みたいと言ったときに、防災拠点に関わらず来てしまう。</p> <p>この前の熊本の地震では駐車場の大きな所に人々は逃げ込んだ。茨城県も車社会であり、家には危ないので一旦車で逃げようとなったときは、大きな駐車場の所に行ってしまうので、防災機能を一次でもいいから持たせようかということとは検討する必要があると思う。</p>

竜ヶ崎 工事事務所	市民と市長との道の駅についての意見交換会が行われたたようだが、道の駅は龍ヶ崎市民だけでなく、牛久や取手など隣接市町村の市民も利用すると思うので、そういった方を対象に道の駅に必要なものについてのアンケートをとるのも良いかと思う。
座長	アンケートについてご意見ございましたが、事務局どうでしょうか。
事務局	周辺地域に対するアンケートについては検討させていただきたいと思います。意見交換会での意見を総括しますと、道の駅に対する意見だけでなく、牛久沼全体の活用についてが最大公約数の意見だったと感じています。道の駅だけでなく、周辺には水辺公園や、牛久市側には木道が整備されていたりしますので、それらを一体的に活用できるような全体像をまず描く必要があるのかと思っています。その中の一つの拠点が道の駅という整備をしていかないと、市民の要望と、市がやろうとしていることに差が出てきてしまうのではないかと考えていますので、当市でできること、周辺に働きかける必要があることを整理して、できることから考えていかなければならないなと思います。また、道路利用者だけでなく、車で40分圏内位の方が日常的に憩いの場として集まって過ごしていただくと良いと思っています。イメージとしては北だと土浦市、南だと柏市くらいまでかなとは思いますが、日常的に家族連れでここに来て、半日程度を過ごせるようなものがあればいいと、その拠点が道の駅になるといいのではないかとイメージがあります。
座長	道の駅だけでなく、牛久沼全体を考えるということですね。その他のご意見、ご質問等がありますでしょうか。
観光物産 協会	牛久沼の有効活用というのが一番皆に訴えるところがあるのかと思う。龍ヶ崎にあるのに「牛久」沼ということで、牛久市のイメージがある。牛久沼という名称自体を変えてしまったり、道の駅の名称でサブネームとかもあるかとは思いますが、例えば夕日が綺麗な夕日沼に変えてしまう。今すぐには難しいと思うが、意見交換会にもあったように、牛久沼周辺を全部活用すると何年かかるか分からないが、ジョギングコースや散歩コース、橋を渡す等、徐々にやっていってもいいのかなと思う。また、道の駅というと車のイメージというものがあるが、佐貫駅から1.7kmくらいあって徒歩では距離があるが、電車で来た人もターゲットにしてもいいと思う。今まで電車の人をターゲットにした道の駅というのは無いと思うので、検討して宣伝広告しても良いかと思う。
流通経済 大学	今、自転車が人気なので、6号が渋滞している時に電車で来て、自転車で道の駅までサイクリングして、ちょっとゆっくりして帰るとというのが、あってもいいかもしれない。ロードバイク用の駐輪ラック等を整備すれば、愛好者を呼び込めるかなという感じはする。
事務局	今のご意見の関連で地域計画課にお伺いします。茨城県では積極的にサイクリングロードの整備を推進されています。牛久沼周辺に目を転じた場合、自転車専用道路の整備は現実的には難しいと思いますが、周辺自治体と連携をして既存の道路を上手にネットワークする形で、利用者呼び込むことは可能なのでしょうか。
地域計画課	つくばりんりんロードを整備するときに、霞ヶ浦1週で湖岸も含めて180kmでした。道路の管理区分や認定等、法制度上色々あるので、そこはまた相談させていただきたいと思う。あと先程ラックの話が出ましたが、県では水郷筑波地域で取り組んでいますが、道の駅においてもサポートステーションということで、ラックや空気入れ、工具等を設置していく制度がある。
女性会	電車で来られた高齢者のために、シャトルバスを出していただければ、良いのではないかと。自転車に乗れる人や歩ける人ばかりでもないと思う。
事務局	バスの件ですが、コミュニティバスのルートの見直しとリンクできれば可能ではないかとも思いますし、シャトルバスも、土日などお客さんが多いときは考えられるのかと思いますので、検討させていただきたいと思います。何よりも、電車に乗ってまで来たいということを盛り込むことが第一だと思います。

女性会	先の話になってしまうかもしれないが、そういうこともあれば安心して利用できる。
事務局	より多くの皆さんに活用していただくためには、そういったことも今後考えていかなければならないと思います。
女性会	来ていただくことを考えるなら、受け入れることも考えていくということが大事だと思う。
座長	それでは他に無いようでしたら本日の会議はこれで終了とさせていただきます。
事務局	【閉会】

龍ヶ崎市総合政策部道の駅プロジェクト課

※各団体からの発言内容は、一部要約して掲載しています。